

第16回

青春21文字 の メッセージ



Shinshu
21

電車と青春21文字プロジェクト

第16回

青春21文字
の
メッセージ

ことばが光ると おもいが届く



青春21文字 メッセージ

プロジェクトマークについて

21文字メッセージ事業をより多くの方にとって頂くため、作品掲示や広報の際にアイコンとして、プロジェクトマークを滋賀県内のデザイン団体と学生との共同で作成しました。

「ことばが光ると おもいが届く」というキャッチコピーと滋賀県・琵琶湖・青春・文芸を表現するシンボルマークは、柔らかさと知性を特に意識しました。

21文字プロジェクトとは

「京阪（石山坂本線）は向かい合わせの席が青春ほいから好き!」、沿線の女子中学生の言葉です。この何気ない言葉からこの活動は生まれました。沿線に数多くの学校があり、大津市で琵琶湖に沿って走る京阪電車石山坂本線は青春路線。その駅数21に因んだのが「青春21文字のメッセージ」です。2006年にスタートした第1回から最終審査員をお願いしています俵万智さんは、学生時代に路面電車で通学されていて、毎回素敵なコメントをいただいています。

回を重ねて協力いただく団体・企業が増え、このプロジェクトは滋賀県域から全国に広がってきています。電車から生まれたこの活動、入口「交通」、切り口「文化・文芸」、出口「観光」を合言葉に、滋賀県発の新しい独自文芸が、心豊かなまちづくりにつながることを願っています。

はじめに

琵琶湖に沿って走り、沿線に学校の多い京阪電車石山坂本（いしやまさかもと）線の駅数21に因んで始まった新様式の文芸表現「青春21文字のメッセージ」。

第16回となる今年は、社会情勢も鑑みて「始発駅」「友情」「平和」の3つのサブテーマで作品を募集しました。

経費面で、まずブルボン吉田記念財団の文化芸術振興事業の助成金事業に選ばれ励みとなり、昨年に引き続きクラウドファンディングも実施し、目標額を達成できました。さらに今回の新たな試みとして、滋賀県の「令和4年度滋賀をみんなの美術館に」プロジェクトに採択され、美術館などを舞台にメッセージ作品をマンガや絵画、音楽と様々な分野のアーティストとコラボしました。継続することに力を注いできましたが、それゆえに21文字文芸と言える文化に育つたとも言えます。ことばの美であるメッセージの持つ力を五感で味わって魅力をより広く多くの方に知っていただき、活動を続けていけたらと思います。

目次

21文字プロジェクトとは	1
はじめに	2
これまでの軌跡	5
過去の応募点数	6
第16回受賞作品	7
滋賀県知事賞	8
近江勸学館賞	13
西日本旅客鉄道賞	15
入賞作品	17
入選作品	25
審査員コメント	53
俵万智さん総評	56
大津市長賞	9
京阪電鉄賞	13
団体賞	15
青春賞	10
近江鉄道賞	14
さわやか賞	11
信楽高原鐵道賞	14
ユーモア賞	12

滋賀県知事祝辞 58

大津市長祝辞 59

今年の活動を振り返る 61

クラウドファンディングについて 62

「滋賀をみんなの美術館に」概要と事業経緯 63

「青春21文字のメッセージ MUSEUM 旧大津公会堂」の開催——マンガとのコラボと作品集原画展
メッセージを音楽に（ゴリラ祭ーズ） 68

画家寺田みのるさんコメント 70

前回（第15回）受賞者コメント 71

あとがき 74

協力者リスト 76

これまでの軌跡

2001年.. 大津のまちづくりについて、行政からの呼びかけに応じて市民団体が「京阪電車石坂線」をまちづくりのテーマの一つとして提案

2003年.. 「石坂線21駅の顔づくりグループ」として活動開始

2006年.. 「電車と青春21文字のメッセージ」事業開始

2007年.. 企業とNPOの協働を顕彰する「第5回パートナーシップ大賞」グランプリ受賞

2008年.. 「あしたのまち・くらしづくり活動賞」内閣官房長官賞受賞

2012年.. NHK大津の地域発ドラマ「石坂線物語」に「21文字メッセージ」が原作として使用され3編の単発ドラマが製作された

2015年.. 10年目を迎え「電車と青春21文字プロジェクト」を結成。クラウドファンディング、NHK

との連携（番組）あほやねん！すきやねん！など10周年記念事を実施

2016年.. 文化経済フォーラム滋賀「文化で滋賀を元気に！賞2015 大賞受賞

2017年.. 「電車と青春21文字プロジェクト」として、大津市との協働提案事業として実施

2018年.. 滋賀県の後援・連携で県内の公共交通である近江鉄道にも活動が広がる

滋賀トヨペット(株)の協賛で作品集を作成・発行

2019年.. 滋賀県協働提案実施事業として活動

県域での公共交通として信楽高原鐵道とも連携

写真、デザイン、音楽などの他分野団体とコラボする文化活動に発展

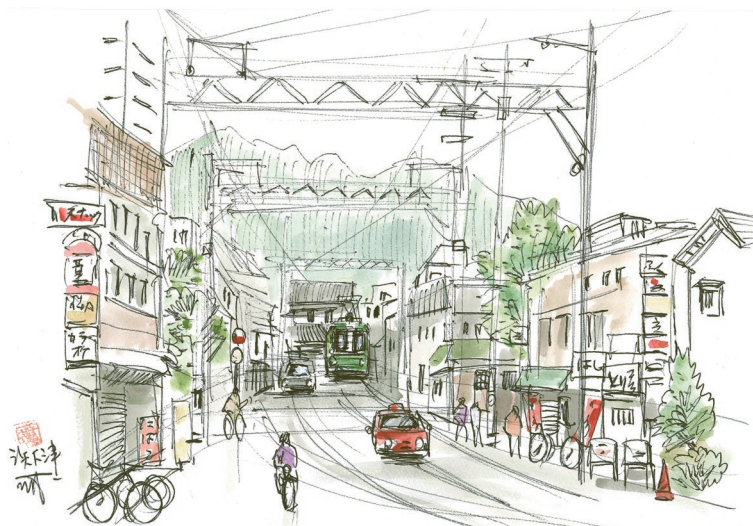
シンボルマークを制定

2020年…前年に引き続き滋賀県協働提案事業として活動し、西日本旅客鉄道とも連携
 2021年…「第15回目実現プロジェクト」としてクラウドファンディングを実施し事業を継続
 2022年…ブルボン吉田記念財団「2022年度文化芸術・スポーツ振興活動」助成事業、令和4年度「滋
 賀県をみんなの美術館に」プロジェクト事業採択、クラウドファンディングを実施

●過去の応募点数

第1回 (2006年度)	2355点 (47都道府県)	第9回 (2014年度)	5048点
第2回 (2007年度)	2621点 (〃)	(韓国、フィンランド、シンガポール、アメリカも)	
第3回 (2008年度)	2017点 (〃)	第10回 (2015年度)	4603点 (47都道府県)
第4回 (2009年度)	1903点 (〃)	第11回 (2017年度)	4999点 (〃)
第5回 (2010年度)	1905点 (〃)	第12回 (2018年度)	4527点 (〃)
第6回 (2011年度)	2948点 (〃)	第13回 (2019年度)	4017点 (〃)
第7回 (2012年度)	3042点	第14回 (2020年度)	5350点 (〃)
(中国、アメリカも)		第15回 (2021年度)	4285点 (〃)
第8回 (2013年度)	3778点 (スイスも)	第16回 (2022年度)	4557点 (〃)

第16回受賞作品



京阪電車 びわこ浜大津駅から三井寺へ

ホームの端まで追いかけた。心はきつと追いついた。

石塚 裕大（滋賀県 18歳）

【俵さん講評】

映画の一場面を見るような駅での一コマです。体はホームの端までしか行けないけれど、心はどこまでも。「きつと追いついた」という表現が魅力的ですね。全体を七五調でまとめたリズムも効いています。

電車に乗れば皆スマホ小さな平和が揺れて行く

桐山 菊子（滋賀県 73歳）

【俵さん講評】

誰もがスマホに見入っている光景は、どちらかというところ
否定的にとらえられがちなもの。けれどよく考えれば、
そんなふうにしていられるのも平和だからこそ。昨今の
世界情勢を思うと、いつそう響いてきます。

青春賞（叶匠寿庵）

青春は始発駅だ。いろいろな駅で降りてごらん。

古子（熊本県 60歳）

【俵さん講評】

人生は、まだ始まったばかり。ゴールを目指すだけが、いいとは限りません。まだまだ時間に余裕のあるうちに、たくさん途中下車をしてみましよう。若者への素敵なエールですね。

さわやか賞（大津商工会議所女性会）

男女の友情について語るきみ 徐行列車がすれ違う

山本 貴幸（大阪府 34歳）

【俵さん講評】

作者は、友情よりも恋情へと話題をすすめたいのかもしれませんが、前のめりな気持ちとは対照的に、ゆっくり通り過ぎる徐行列車が印象的です。人間関係も、徐行でいきましようと言ってくれているようですね。

ユーモア賞（トヨタモビリティ滋賀）

六人一緒に立ち上がる。誰が譲るか譲り合う。

ぶくのみママ（香川県 30歳）

【俵さん講評】

席を譲らねばと思う気持ち一致して、なんと六人が立ち上がりました。そして今度は、誰が譲るかを譲り合う。ほほえましくも心温まる一場面です。

近江勸学館賞

好きになるとI C O C Aの音すらなんかスタイリッシュ

みより（埼玉県 19歳）

京阪電鉄賞

朝の電車線路を挟んでLINEで「おはよう」

たまちゃん（大阪府 18歳）

近江鉄道賞

いつもの席で読書の君 八十歳臉に残る平和の姿

岩谷隆司（三重県 80歳）

信楽高原鐵道賞

雪の始発駅。母の作った弁当が僕の背中を温める。

夜明けのパンチ（神奈川県 19歳）

西日本旅客鉄道賞

駆けるホームに君がいた
掛ける言葉に賭ける僕

荻野 結希（滋賀県 15歳）

団体賞

大津市立堅田中学校（滋賀県）

宮城県名取高等学校（宮城県）



京阪電車車内



青春号 (京阪電車)

第 15 回入賞作品 展示の様子

(2022年2・3月撮影)



信楽高原鐵道車内



近江鐵道車内

入賞作品



信楽高原鐵道

無人の列車一番乗り　昔は母と今は我が子と手を繋ぎ

居積奈伽（埼玉県 30歳）

真冬の寒い始発駅のキミの手。想いの静電気。

大橋羽奈（滋賀県 13歳）

君と出会った始発駅、僕の気持ちも走り出す。

黒崎裕英（滋賀県
12歳）

今だけは隣の席になれるロングシートに感謝する

坂下遥香（滋賀県
16歳）

一番前の車両で、夢を叶えた友の背を見る。

さごじょう（愛知県 39歳）

寝そうな友に肩を貸す。高さが合わず笑われる

高橋 つむぎ（和歌山県 18歳）

帰路の景色が家族より先に「おかえり」を告げる

田島 史都（広島県 26歳）

始発駅は君の最寄り駅 私にとってパワースポット

田中 遙菜（滋賀県 15歳）

大好きだ踏切前での告白が電車に負けた冬の朝

なずな（神奈川県 17歳）

君が乗ってくるまで私の隣が空いていますように

新妻 和音（奈良県 18歳）

初デート
緊張の始発駅は幸せの終着駅になった

ハナコの海（青森県
60歳）



あッヤメた
もういちど青春!!

<https://densyatosseiyun21.com/>
詳細はHPで紹介しています。



会場で第16回青春21文字のメッセージ応募できます。

テーマ【始発駅・友情・平和】

最終審査員：榎万智(歌人)

青春21文字

ご来場の方に
特製グッズプレゼント
(毎日先着順、数量限定)

の メッセージ with 展示会 旧大津公会堂

2022年

8月8日(土)～13日(土) 10:00～17:00 ※最終日は16:00終了

旧大津公会堂 2F 多目的室 (大津市浜大津1丁目4-1)

会場には駐車場がありません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

第15回

青春21文字のメッセージ

入選 100 作品展

作品集装画 寺田みのる | 画家 原画展



◆コラボ企画

8/8(月)～13(土)

①もしもメッセージ入賞作が漫画になったら
～セリフを書こう!～

8/8(月)～11(木・祝)

②漫画制作体験～キャラクターを描こう!～

◆トークタイム

8/13(土) 13:00～

寺田みのる氏(画家)「展示作品と旅の話」

8/8(月)～11(土) 13:00～

桜ざしよー氏(漫画講師)「漫画の作り方」

◆電車ヘッドマークと写真撮影など

お楽しみ企画あります!!

主催：電車と青春21文字プロジェクト
共催：関まちづくり大津(旧大津公会堂)
お問い合わせ先

080-2444-3359(福井)

共催：大津市 後援：滋賀県

協賛：トヨタモビリティ滋賀、叶 匠壽庵、大津商工会議所女性会、近江勤字館、京阪電気鉄道、近江鉄道、信楽高原鐵道、西日本旅客鉄道、京都信用金庫 他
協力：大津市社会福祉協議会、びわこデザイン文化協会 他

公益財団法人ブルボン吉田記念財団 2022年度文化芸術振興助成事業

チラシデザイン：桜ざしよー

入選作品



坂本ケーブル

お前んちの最寄だからと読めてしまいう難読駅名

相羽 竜馬（東京都

24歳）

未来掴むよう 吊り革へ背伸びするまつさらな制服

青木 祐人（長野県

23歳）

包装紙製の鶴の翼が冷房に揺れて祈りをひとつ

暁（滋賀県

17歳）

LGBT認められて堂々と手をつなげる帰り道

阿部 紗矢（宮城県 17歳）

乗車口誰に会いに来たのか季節忘れた赤トンボ

飯塚 元彦（滋賀県 59歳）

車窓から覗く皆の日常 世界で一番の平和の象徴

市川 瑚々（静岡県 18歳）

「武器」じゃなく「楽器」で奏でる平和への願い

一ノ瀬 明男（東京都 66歳）

君が折れそうなら私が支える友情の力は無限大

井出 千尋（滋賀県 15歳）

頑張れではなく頑張ろう 君の言葉が好きだった

太田 衣袖（愛知県 20歳）

初めて君と出会ったこの場所が私の恋の始発駅

大山 乃愛（宮城県 17歳）

きみに出会った始発駅、ぼくの春も始まった。

岡田 祐風（埼玉県 20歳）

始発駅で見る太陽よりも隣で笑う君が私の太陽

岡田 麗（滋賀県 15歳）

駅に着く頃もう私変わっているのこの街の人に

丘野 真知子（静岡県 20歳）

「何を話そう」君の笑顔を思い浮かべた三駅分

岡村 爽風（滋賀県 18歳）

早足で間に合う踏切 後ろに気付いて縮めた歩幅

億り人（滋賀県 37歳）

引退試合、すすり泣く声はトンネルが消してくれる

起龍也（滋賀県 15歳）

冬の朝、手をこすり、始発が来るまで天体観測

かこ（千葉県 34歳）

一本遅い電車 君と会えるなら遅刻もありかも

神谷 怜奈（宮城県 16歳）

高2の夏 君と話す口実は今だって「次の電車何分？」

かもみーる（岡山県 28歳）

始発駅。名も知らずともいつもの顔が指定席に

木村みどり（滋賀県 63歳）

むせび泣く母を不意に包み込む春の発車メロデー

工藤圭太（北海道 21歳）

旅立ちの春 振り向かないと心に決めた改札口

減点パパ（大阪府 64歳）

18才君に出会って57年やさしい君は今空人に

小泉 晴美（神奈川県 75歳）

片手に饅頭、片手に切符、駅で浮かべる祖母の笑顔

坂口 ゆい（和歌山県 18歳）

車窓越し揺れるヒマワリ祈り続ける世界の平和

さくらく (京都府)

48歳

「席どうぞ」譲る友人になんだか私が誇らしい

塩豆大福 (静岡県)

19歳

どこまでも続け、車窓は走る平和の美術館。

ジョンけけ (山梨県)

59歳

始発駅の改札口　あなたと私の恋の入場ゲート

砂田息吹（滋賀県）
14歳

終戦の日も時刻通りに始発駅を出る動輪の響き

颯光（大阪府）
21歳

友達と駅まで走る五分前次くる電車は一時間後

高木帆香（滋賀県）
15歳

つま先で影にふれても、気づかないホームの君。

高橋 功（栃木県 62歳）

かるた遠征みんなでまねる方言も好いお土産だ

高嶺（静岡県 15歳）

君と友達になった日が、私の人生の「始発駅」

田野岡 未来（滋賀県 13歳）

左右の確認、踏切でも手を挙げ渡る子どもたち

だんだん（滋賀県 30歳）

君と話していると私の心の花がだんだん咲いてくる

富山 杏奈（三重県 13歳）

電車できみが読んでいた本を図書館で借りてみた

豊富 瑞歩（茨城県 20歳）

最寄駅逃して笑う君に私は少し期待してしまおう

内藤 千佳（滋賀県 22歳）

荷物抱え「ここ座れよ」と友達。かつこよすぎ

中塚 貴博（滋賀県 14歳）

始発駅でわざわざ隣に座る君、期待しちやうよ

永野 桜（東京都 20歳）

電車揺れ心も揺れるスマホなき頃の交換日記

難波 和子（岡山県 71歳）

ステージと化する駅のホーム、笑い転げる部活仲間

西村 音那（滋賀県 14歳）

雨の日だけ会える人、曇った車窓にラブレター

n o n n o（京都府 29歳）

扉が開いて数秒間の蝉時雨、無口な二人へ大声援

ハイビッグ（京都府

31歳）

始発駅にて待ち合わせ 素敵な君との1ページ

波木井智仁（鹿児島県

28歳）

なかいいね でんしゃとくるまならんではしる

長谷川陽菜（京都府

5歳）

「席どうぞ」 幼子の声。 平和な心になごむ車内

長谷川 真由美 (京都府 36歳)

地元駅 臆病な僕の背中を押した友を思い出す

パンダの手 (神奈川県 29歳)

マタニティマーク 友達二人と同時に声かけ顔真っ赤

ヒ。(神奈川県 19歳)

発車待つわたし。わたし待つ、次の駅のあなた。

ひじき (広島県 29歳)

朝練仲間 待ち合わせは始発 2人で掴む全国切符

ひやしめん (大阪府 27歳)

一緒に電車通学 スマホばかり見ないで私を見て

福島にこ (東京都 13歳)

君に出会ったあの瞬間この駅が僕と君の始発駅

福地 真路（滋賀県 24歳）

君の顔が車窓の風景に溶け込む瞬間が好き

藤原 汰一（広島県 18歳）

目が合うと君は前髪触り出す これって脈あり？

ブラックキャット（島根県 24歳）

車窓からホームに立つ彼見つけ私の顔は完熟りんご

古田 心菜（滋賀県 14歳）

毎朝始発駅で会う君に、いろいろなお早よう練習した

ブンショウ（千葉県 74歳）

今あなたと二人で話す時透明な壁が邪魔をする

穂香（大阪府 18歳）

「ここどうぞ」耳を赤らめる君の背中が大きくて

ボブ（宮城県
25歳）

始発駅で見る太陽と琵琶湖、今日も平和と感じる

堀川 美咲（滋賀県
14歳）

始発駅からの友情が詰まる切符の友好期限よ永遠に

堀川 隆人（滋賀県
15歳）

ガラんと空いた席に二人、肩を寄せて並ぶ朝。

前田 友香恵（神奈川県 19歳）

トンネルの中電車の窓に映る私たちにハイチーズ

牧原 杏（滋賀県 14歳）

毎日笑った始発駅最後の今日は泣いてもいいかな

松村 四葉（滋賀県 14歳）

三井寺駅の大晦日 見上げる空に平和の鐘響く

三上 章道（滋賀県 77歳）

勇気出し初めて君の横に立つ ここが僕の始発駅

南のサッチー（鹿児島県 68歳）

絶対に座れるのに絶対に座らないきみと笑う日々

南 美桜（大阪府 27歳）

ページをめくる音だけが響く車内は二人だけのもの

箕浦 翔子（滋賀県 27歳）

君が乗ってきた途端 会話が揺らぐ友よごめん

宮島 未奈（滋賀県 38歳）

名前も知らない彼の愛おしい寝癖から想像する朝

みゆ（岐阜県 22歳）

5時9分、切符片手に君を待つ　物語が始まる予感

村山 哲也（愛知県 20歳）

つり革届かなくて　君の袖をつかみ私の心揺れる

森田 つぐみ（滋賀県 17歳）

始発に乗る受験生、お互い密かにエールを届ける

安江 陽菜（滋賀県 17歳）

友達と駅のホームで大あくび目と目合いひと笑い

山田 琢心（滋賀県 17歳）

故郷を離れ半世紀変わらぬ駅舎と変わらぬ友情

横手 敏夫（埼玉県 69歳）

「朝早いね」と笑う君に「君がいるから」と心の内

横山 実優（宮城県 17歳）

コロナで友と会えぬ日々　今日の電車は心ウキウキ

吉川 恭子（大阪府 82歳）

「友情発愛情行き」特急よりも各駅停車で一歩ずつ

吉野 順子（東京都 55歳）

恋とるか友情とるか悩む駅。親友も君が好き。

ラピッド快（神奈川県 18歳）

たった二駅乗り過ごした日
放課後の小さな冒険

莉帆（広島県
29歳）



京都、太秦広隆寺駅周辺

審査員コメント

●大津市副市長 杉江 達秀

まずは、今回も「青春21文字メッセージ」の審査員をさせていただいたこと、心から感謝申し上げます。ペンネーム、年齢、都道府県の欄はできるだけ見ずに、それぞれの作品を読んだ時に情景描写が頭に鮮明に浮かぶ作品であること、そして、21文字のスムーズな言葉の流れに重きを置いて審査しました。全部素晴らしい作品なので採点するのに悩みましたが、ことばが私の背中を押してくれ「青春21文字メッセージ」を楽しませていただきました。応募された皆さんのそれぞれの作品に込めた思いを大切にしてください。本当にありがとうございます。

●トヨタモビリティ滋賀株式会社 片岡 哲

数年前からバラエティ番組で俳句を評価し、出来不出来を争うという企画のものがあり、少しかしこまった内容のように思えますが、応募作品は気持ちをストックに表現するものから、想像を膨らませるものまで本当に様々な作品があつたと思います。時代が移り変わろうと、「青春」というテーマでは昔とあまり変わらない気持ち 皆さん抱かれています。感じがうかがえました。いずれにせよ、皆さんそれぞれの思いを21文字の中に凝縮されており、興味深いすばらしい作品だな！ と思いました。

●大津商工会議所女性会会長 岡澤 則子

大津商工会議所女性会では、16名で丹念に二次審査を行わせて頂きました。全部ひらがなで書いてある5歳の女兒に出逢ったり、青春真っ只中かなと思ったら82歳の女性だったり、大人びた小学生が出て来て思わず笑ったり、遠い日に言いそびれたことを思い出した63歳の男性が現れたり…。毎年エキサイティングな時間を共有させて頂いております。その度に「ことば」の大切さを痛感致します。自分を素直に見つめて語り、人の心に届く素敵な「ことば」の21文字。今年も最終発表をとっても楽しみに致しております。

●日本放送協会大津放送局長 手島 一宏

21文字の言葉が、時に剛速球、時に変化球で表現され、私の想像力をかき立てました。思わず感嘆の声をあげたり、読むたびに印象が変わる作品もあり、驚いたり楽しんだりの審査で、みなさんの豊かな感情、そして純粋さをあらためて実感しました。「始発駅」の様々な思い出や豊かな発想に触れるとつい応援したくなり、「平和」作品では情景が浮かぶとともに、自分の安穩とした日常生活に感謝。純粋な思いを綴った21文字メッセージは本当に素敵です。

●毎日新聞大津支局長 村元 展也

何気ない日常が、言葉選びの切れ味によってキラリと輝く。「青春21文字のメッセージ」のもつ魅力を改めて感じさせてくれる作品にたくさん出会いました。

特に「平和」をテーマにした10〜20代の若者によるいくつかの作品には、ちよつと思いつかないような鋭

い言葉が使われていました。どのような心の動きからこの表現が つむぎ出されたのかと考えながら、何度も読み返しました。

今なお続くコロナ禍にあつて、何かを表現したいという人々の心持ちに変わりはなく、お前も「がんばれ」と言われているようでした。



東京浜松町、モノレール

俵万智さん総評

電車や駅を舞台とするさまざまなドラマを、今年もたっぷり堪能しました。始発駅というテーマを、人生と重ねてうまく表現した作品も多かったですね。



俵万智（たわらまち） 歌人

早稲田大学卒。1986年、作品「八月の朝」で第32回角川短歌賞受賞。1987年、第一歌集「サラダ記念日」を出版、ベストセラーとなる。翌年、「サラダ記念日」で第32回現代歌人協会賞受賞。2004年評論「愛する源氏物語」で第14回紫式部文学賞受賞。第四歌集「プーさんの鼻」で2006年第11回若山牧水賞受賞。歌集の他、小説、エッセイなど著書多数。第六歌集「未来のサイズ」で2021年、第36回詩歌文学館賞、第55回追空賞を受賞。現代短歌の魅力を伝え、すそ野を広げた創作活動により2021年度、朝日賞受賞。

—第16回—

応募締切 2022年10月15日 (消印有効)

青春21文字の メッセージ 募集中

●サブテーマ

始発駅・友情・平和

※複数、またはどれか1つをイメージした作品



クラウド
ファンディング

実施します

※詳細はHPをご覧ください



青春21文字

ことばが君の背中を押す

手紙、詩など形式は自由の21文字文芸。青春や交通にまつわる思い・夢などをサブテーマをイメージして21文字で表現してください。入選作は県下を走る電車や駅などに展示します。

●発表：2023年2月

電車と青春21文字プロジェクトのHPで発表

●応募要項：

- ・対象：どなたでも応募できます
- ・応募点数：おひとり3点まで
- ・文字数：21文字 (前後2文字程度の長短は可)
- ※長すぎる、短すぎる場合は、対象外になることがあります。
- ・応募料：無料

●応募方法

- 〒520-0027 大津市錦織2-7-16
京阪電気鉄道株式会社大津営業部内
「電車と青春21文字プロジェクト係」
- Fax 077-524-6875
「電車と青春21文字プロジェクト係」
- メール seisyun21moji@yahoo.co.jp
※件名は「青春メッセージ」としてください
<http://densyatosesityun21.com/>
(電車と青春21文字プロジェクト)
- Web
※このサイトの応募フォームから応募してください

●賞および副賞

- ・「優秀賞」(2点) 滋賀県知事賞、大津市長賞
副賞：図書カード(2万円)・賞品・賞状
- ・「青春賞」「さわやか賞」「ユモア賞」(各1点)
賞品・賞状
- ・「かるた賞」(1点)「鉄道賞」(4点)賞品・賞状
- ・入賞(11点) 入選(79点)
- ・団体賞(2団体)
- ※諸権利・入賞作品の著作権は主催者に帰属

●主催：電車と青春21文字プロジェクト

- 共催：大津市 ●後援：滋賀県
大津市モビリティ滋賀、叶匠高庵、
大津商工会議所女性会、近江動工館、
京阪電気鉄道、近江鉄道、信楽高原鐵道、
西日本旅客鉄道、京都信用金庫ほか
- 協力：大津市社会福祉協議会、
びわこデザイン文化協会 ほか
- お問い合わせ先：電話 080-2444-3359

青春21文字のメッセージ展示会 with 旧大津公会堂

会期：8月8日(月)～13日(土)
10時～17時 (最終日は16時まで)
会場：旧大津公会堂 (大津市浜大津1-4-1)
★第15回受賞作品展示、作品集イラスト原画展示
★ワークショップ：漫画家体験などお楽しみ企画いろいろ
※詳細はHPで紹介しています。

公益財団法人アール・エッセイ・プロジェクト 2022年度文化芸術振興助成事業

ポスターデザイン：角谷 和好/みしまちあき 監修：びわこデザイン文化協会

滋賀県知事祝辞

「第16回 青春21文字のメッセージ」作品集の御完成、誠におめでとうございます。

今回も県内外から、また幅広い年齢層の方々から御応募があったと聞き、「21文字」という本県発の独自の文芸表現が多くの人を魅了していることを大変嬉しく思います。令和4年8月には展示会も開催され、更なる発展に期待が膨らむところです。

さて、このプロジェクトが「入口『交通』、切り口『文化・文芸』、出口『観光』」を合言葉としているように、交通は人と人との「交わり」や「つながり」を生み出す基盤となるものです。本県の公共交通に御注目いただいているところではありますが、改めて、公共交通は皆さまの生活に寄り添い支えているのだと感じ、その必要性を実感しました。是非、皆様もこのプロジェクトをきっかけに、青春の日々を懐かしむとともに、公共交通の魅力を実感していただければと思います。

最後になりますが、このプロジェクトに御尽力いただきました関係各位の皆様には厚くお礼申し上げます。今後ますますの御発展と皆様の御活躍をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和5年吉日

滋賀県知事 三日月 大造

大津市長祝辞

「第16回青春21文字のメッセージ」の作品集が発刊に至りましたこと、心からお喜び申し上げます。

この「青春21文字のメッセージ」の事業は、大津市内を走る京阪電車 石山坂本線に21の駅があることにちなんで「電車にまつわる思いを持っている人はきつとたくさんいるのでは？」という地域の皆様の心温まる思いから始まったと伺っております。

16回目を迎えました今回も、全国各地から4557点の作品が寄せられ、身近な電車での思い出や青春にまつわる大切な想いは、地域や年齢を問わず、たくさんの方が心に抱いているのだと改めて感じました。

今回掲載された作品も、21文字の限られた文字数にも関わらず、作者の思いが込められた素敵な言葉で表現され、電車や駅ならではの情景はもちろん、「この後どうなったのかな？」と読者の想像力を掻き立てる魅力的な作品ばかりです。

これからも「21文字文芸」の持つ可能性に大いに期待いたしますとともに、本市といたしましては、事業をきっかけに、大津のまちに親しみを持つ人が増えることを心から願っております。

結びになりましたが、事業や作品集の制作にご尽力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和5年吉日

大津市長 佐藤健司



滋賀をみんなの美術館に
「滋賀をみんなの美術館に」プロジェクト事業

～ことばが光ると
おもいが届く～



青春 21 文字

の メ ッ セ ー ジ 展

テーマ【電車と青春】

2023年1月17日(火)-22日(日)

10:00～17:00 (22日は16:00まで)

滋賀県立美術館

ラボ&ポップアップギャラリー

滋賀県大津市瀬田南大聖町 1740-1

Tel.077-543-2111 fax.077-543-2170

「21文字のメッセージ」作品の募集
テーマ「電車・青春」
会場で見ることができます

主催：電車と青春 21 文字プロジェクト
共催：大津市 後援：滋賀県
協賛：トヨタモビリティ・滋賀・外 匠南庵
大津商工会議所女性会、近江船字館
京阪電気鉄道、近江鉄道、信楽高原鉄道
西日本旅客鉄道・京都府民会館
協力：大津市社会福祉協議会
びわこデザイン文化協会
公益財団法人ブルボン・吉田記念財団
2022年度文化芸術振興補助事業
お問い合わせ：電車と青春 21 文字プロジェクト
080-2444-3359



青春 21 文字メッセージ
詳細は HP で
確認してください

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベントの内容が変更になる場合があります。詳しくは、ホームページをご覧ください

第 16 回
青春 21 文字のメッセージ
4,557 作品の中から選ばれた入賞 21 作品と入選作品
過去の入賞作品を展示
寺田みのる (画家) 原画展示
作品集の装画・挿絵 (鉄道風景のスケッチ画)

鉄道模型の展示
滋賀鉄道模型愛好会 (STMC)
21 日(日)・22 日(日)は模型の運転体験ができます
運転士さん気分
京阪電車の子供用制服を着て
運転士さんの気分があじわえます

イベント
1月21日(土) 木のホール
①11:00～11:45 音楽演奏
「コリラ祭一ス、一葉山ひかりこども園 (予定)
瀬田小学校音楽部/ノド (予定)
②13:00～14:00 トークショー「電車と青春」
近江鉄道 山田氏、京阪電鉄 前田氏、ほか
③14:15～14:45 音楽演奏
「コリラ祭一ス」、東大津高校トラスバンド (予定)

ポスターデザイン：森 友美子

今年の活動を振り返る

クラウドファンディングについて

前回に続き今回もクラウドファンディングを行い、目標額を達成しました。昨年同様にリターン品の提供を協力頂いた各社に加えて、新たなリターン品提供の申し出も加わりました。例えば滋賀の地場産業である「高島木綿」を使った「琵琶湖の風をまとう高島ちぢみのシャツとワンピース」。支援者からは地元の特産情報を発信する試みを応援したいというコメントも寄せられました。地域の麩屋さん、和菓子企業などの協力申し出もありがたい事でした。

クラウドファンディングのサイトで活動を知った方、文化活動や電車に興味のある方など、様々なきっかけから活動に着目して支援して下さい、昨年、今年と連続で支援くださった方々も多数ありました。添えられている皆様からのメッセージをいくつかご紹介します。

- 昨年に引き続き、今年もプロジェクトを応援します。眩しくなるほどの青春作品が鑑賞できるのを楽しみにしています。
- 文化活動を応援しています！ 頑張ってください！
- 「青春21文字メッセージ」プロジェクトが長く長く続く事を願っています。
- 短い言葉に込めた大きなプロジェクトの成功を願って支援致しました。
- 近江鉄道をはじめ、ローカル線が見直され注目されつつあると思います。プロジェクトの発展を期待しています！

「滋賀をみんなの美術館に」概要と事業経緯

今回、滋賀県が募集した「令和4年度『滋賀をみんなの美術館に』プロジェクトに採択されました。その事業の一環で、初めて滋賀県立美術館にて「青春21文字のメッセージ展」を開催することになりました。なぜ美術館とメッセージが結びつくの？と思われるかもしれませんが、私たちが長年続けてきた21文字のメッセージは「言葉を磨き、言葉の美を見つける取り組み」と言えることからエントリートしました。

「滋賀県全体を、あたかもひとつの『美術館』に感じられるよう、美の資源を活用した地域での取組を補助し、人と人、人と地域のつながりや滋賀への愛着が深まっていくことを目指す」のがこのプロジェクトの趣旨です。滋賀県発信の「新しい文芸」と言える当事業は、滋賀特有の美の資源と言えます。地域に密着して愛されている公共交通を舞台にする一般に開かれた事業であること、実施する事業の効果が県域全体または広域に及ぶ事業であることから、活動の方向性と期待される効果がピタリと合致したのです。

募集要綱の中で滋賀県立美術館と連携し、館内での展示やワークショップ等の企画を含む事業であることが条件となっていました。今回メッセージの展覧会が実現できたのも、ある意味このプロジェクトと出会う機会があったからこそ、知恵を絞り、他ジャンルのアーティストとのネットワークを広げる絶好の機会になったと言えます。

今回、優秀賞・入賞作品は中吊りのように天井から掲示し、吊り革で電車内のイメージを演出しました。

展示会場では滋賀鉄道模型愛好会S T M Cの協力で、鉄道模型も展示して走行体験会を開催し、寺田みのる氏の水彩画「電車のある風景」も展示。文芸好きの人、音楽好きの人、電車好きの人もターゲットにしてイベントを構成しました。鉄道関係者の登壇するトークショウも開催、NHKのキャスターが司会し、鉄道クイズなどもあり大変盛り上がりました。また言葉を音楽にという事でメッセージ作品を楽曲にすることにもチャレンジ。ゴリラ祭ーズという滋賀県出身在住の現役大学生のグループをお願いして「21文字のうた」を制作、お披露目演奏をしました。近隣の東大津高校の吹奏楽部の演奏もあり、若者たちが会場にフレッシュな風を吹き込みました。

この展示会が今回の受賞作品発表の皮切りの機会でした。受賞した作者が訪れ展示された作品を初めて目にし喜びが爆発する瞬間は、私たちにとっても新鮮な光景でした。これまでは電車の中吊りや商店街で展示されているものを作者が見ておられたとしても、私たちはその場での感激を共有できていなかったわけで、感動を覚えるリアルな現場に立ち会えました。展示会を開催したからこそ味わえたことで事業の効果を私たち自身が体感しました。



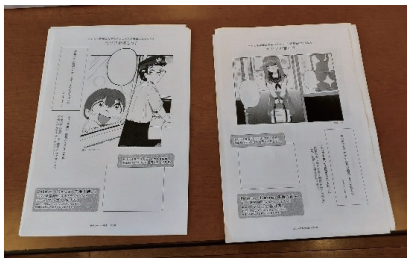
「青春 21 文字のメッセージ展」(滋賀県立美術館)

「青春21文字のメッセージ展」旧大津公会堂」の開催

——マンガとのコラボと作品集原画展

ことばの美である「21文字のメッセージ」をさまざまなアプローチからの「美の創出」に繋げようとした今年。第16回の作品募集の期間に応募への誘い企画として浜大津の旧大津公会堂で「青春21文字のメッセージ展」旧大津公会堂（8月8日～13日）を開催しました。第15回作品集表紙や挿絵の原画の展示と、あらたな取り組みとして漫画講師桜ざしよーさんのマンガ教室と連携したイベントなどを行いました。

21文字メッセージ作品を元にマンガ教室の生徒さんが、ひとコマ漫画を制作。さらに体験イベントとして、そのマンガ作品に吹き出しを付けて来場者が「セリフ」を書き入れる」という企画です。同じ絵の吹き出しに喜びのことは（セリフ）が入っていたり、驚きのことばだったりします。同じメッセージ作品が題材で同じマンガを通じて、各自で異なる受け取り方があり、イメージの世界は無限に広がる事が新発見でした。マンガという表現手法によって、メッセージを知って下さる年代層も広がり、21文字の醸し出す世界観に共鳴してもらえる方が増えますと幸いです。また地元を愛する画家寺田みのるさんの京阪電車をはじめとした滋賀県内の鉄道の沿線のスケッチも、来場者から思わず「アッ！ この駅は……！」という物語を誘いだしていました。





～もしも青春21文字のメッセージが漫画になったら～
セリフを書こう！

原宿 原一

あなたの書きこみについての感想、
質問制作したいの感想はごまかさないで。

「セリフを書きこむ」は、原宿駅構内に入内して、
1階西口改札前（原宿駅）に設置した展示スペースに
応募に使用する原宿駅構内入内券が必要です。
原宿駅構内には、原宿駅構内入内券の発行所があります。
原宿駅構内には、原宿駅構内入内券の発行所があります。

8月8日(月)21日(日)まで 午後1時から
マンガ教室(原宿駅構内)にて原宿駅構内
入内券の書きこみ受付を行います。
原宿駅構内には、原宿駅構内入内券の発行所があります。

原宿駅構内には、原宿駅構内入内券の発行所があります。



「青春 21 文字のメッセージ with 旧大津公会堂」

メッセージを音楽に（ゴリラ祭ース）

かねてよりメッセージを「音楽」にできないかなと考えていました。これを受けて担ってくれたのが地元
の大学生のスリーピースバンド「ゴリラ祭ース」です。石坂線沿線の滋賀県立石山高校の吹奏楽部で一緒だっ
たという3人で2017年に結成。リコーダーや鍵盤ハーモニカ、ギターを使ったインストウルメンタル曲
を中心に、ライブ活動の他、YouTubeなどでオリジナル、カバー楽曲を公開する等、精力的に活動中という若
者たちです。ニッポン放送オールナイトニッポン企画「有楽町うたづくり計画」最優秀賞を受賞し、KBS京
都テレビ・ラジオの開局70周年記念「KBS京都のうた」をつくろう企画「楽曲制作および歌唱・演奏の実
力派。佇まいや会話が見ているだけで笑顔になるような爽やかな3人組です。

話を持かけた時、「えっ！ 21文字メッセージですか」というリアクションがあり、聞いてみると「電
車と青春21文字メッセージ」の企画を皇子山中3年の時に国語の授業でとりあげられ団体で応募、高校通学
時も石坂線で通学。毎年3月のメッセージ電車が走行する時期になると受賞作品が飾られるのでいつも楽し
みにしていたとのこと。何度か応募の経験もあるそう。

県立美術館での展示と同時に行ったライブで新曲「21文字のうた」を発表。今回演奏を聞いた観客からは
「電車に乗っているイメージがした」「懐かしく自分の体験と照らしあわせるようなリズムだ」「楽器の組み合
わせがよい」「ぬくもりのある声が印象的」という声が聞かれました。

彼らからのメッセージ…このプロジェクトを通じて感じたことは、「誰もが自分の歌をもっている」ということです。それぞれが感じる「青春」への想いが言葉になり、それがまた他の誰かに届く……そんなイメージを楽曲に込めました。

「21文字のうた」

向かい合わせの席に座れば
はじまる予感がした
流れる景色を眺めるふり
目が合った瞬間に

見えない魔法にかけられ
不器用に言葉をひろいあつめ

うたが生まれる
誰にも内緒の想いがある
あなたには届くかな
線路の上で出会った全てに揺れる心
この街の片隅で青く光った

待ち合わせの駅で降りれば
なつかしい声が出た

眺める景色は変わり続け
あの日々を振り返る

夕暮れに染まる窓の外
ほんのささいな言葉の裏
いつか思い出してうずいた
すべては
ここで巡り合わせるよ

うたは生まれる
あなたの言葉は光になり
この街を駆け巡る
線路はつづくいくつになっても揺れる心
この空の片隅で青く光った



画家 寺田みのるさんコメント

(*)地元を愛する画家 寺田みのるさん。各地の鉄道の沿線スケッチ(電車のある風景)を寄せて下さいました。

昨年初めて参加。地元の私鉄沿線を描き、電車と、人々の関係をあらためて強く感じました。また、今年の応募作品の中からも愛情あふれる情景が表現され、楽しく、オシャレな人間関係を見せてもらいました。人生いつまでも青春と教えただき感謝です。

●プロフィール

寺田みのる、大津市生まれ。旧三洋電機企画部長。
世界水彩画精鋭選抜展招待作家。
大津市絵画展審査委員長、個展100回 イタリア、フランスでも開催、著書多数



大阪環状線桜ノ宮あたり

前回（第15回）受賞者コメント

前回(第15回) 受賞者コメント

●ハナ (滋賀県知事賞)

昨年は15回目の青春21文字のメッセージに参加させていただきありがとうございました。

1年経った今もまだ信じられませんが、滋賀県知事賞という素晴らしい賞を頂くことができ、とても嬉しく思っております。

作品集で皆様の作品を拝見しましたが、たった21文字で情景が浮かびあがり、超・短編小説を読んでいるようでもなくわくしました。また、改めて言葉って素敵だなあと感じる事ができました。

今朝も田舎へ向かう人の少ない電車に高校生くらいの男の子と女の子が隣同士座ってなにやら会話をしております。すでに2人はカップルなのか、はたまた高校時代の私と同じようにちりを積もらせている途中なのか、非常に微笑ましい電車の物語を見させて頂きました。

電車が生み出してくれる青春がこの先もずっと、いつの時代も続いていたら良いなあと思いました。

これからの青春21文字のメッセージも楽しみにしております。

末筆ながら、貴社の益々のご繁栄とご発展をお祈り申し上げます。

作品【毎朝君との2駅7分 ちりも積もれば恋になった】

●杉浦 聡美 (大津市長賞)

第15回大津市長賞と言う大変名誉な賞を頂きありがとうございます。娘が受賞を知らせるハガキを持ちながら部屋に飛び込んできたのを昨日の事のように思い出します。青春21文字のメッセージを知ったのは2年半程前のコロナ禍でした。ステイホームが叫ばれ、不安を抱えながら過ごしていた時です。俳句や短歌のように難しい事を考えず思った事を21文字にする。それがとても楽しく、私の指はいつも21文字を数えながら動くようになりました。メッセージを考えている時、不思議と自分がどこか懐かしい駅や電車に乗っているような感覚になりました。コロナ禍でどこにも行けない時期に私は様々な駅を、そして電車に乗って様々な場所を旅しました。それはコロナを忘れる事が出来る楽しい時間でした。そうして出来た作品の一つが大津市長賞に選ばれ、大変光栄に思っております。

賞を頂いた時、父は闘病中でした。この朗報を父は大変喜んでくれましたが、その後すぐに天国に旅立ちました。今迄父に誇れる物が何もなかった私に唯一誇れる物を頂き、そして最期の親孝行ができた事とても幸せに思います。プロジェクトの皆さまには感謝しかありません。

最後に私の作品を選んでくださった審査員の皆さま、関係者の方々、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

作品 【線路沿いの案山子が手を振る 今日が最後の見送り】

あとがき

第16回の応募総数は4557点、全国47都道府県からの応募がありました。毎回設定するサブテーマですが、今回は、電車関連で「始発駅」青春時代で「友情」そして今時代に望まれることとして「平和」の3つとしました。応募作中「始発駅」が最も多く取り上げられていました。俵さんからも全体講評で、「電車や駅を舞台とするさまざまなドラマを、今年もたつぷり堪能しました。始発駅というテーマを、人生と重ねてうまく表現した作品も多かったですね。」というコメントを頂きました。始発駅は、前向きなスタートラインに立つ感じで、コロナ禍が続いたここ数年でしたが、久しぶりに元氣の出る作品が多く見られました。

近年は学校単位での応募が増え、20校を超えました。今年の団体賞は滋賀県の堅田中学校と宮城県の名取高校で、いずれも国語の授業で取り組んだとのこと。21文字というなじみの薄い様式ゆえ、そのきっかけが気になり担当の先生にお聞きしました。名取高校は公募雑誌で知り、国語科の課題で短歌、俳句を学ぶ一環として取り組んだそうです。「東北本線、常磐線、阿武隈急行とたくさんさんの鉄道が通っていて電車通学をする生徒が多いのです」とのこと、 「電車と青春」というテーマが身近な課題で意欲的に取り組めたと語ります。

堅田中学校の先生は前任の唐崎中学校でも授業で取り組んでおられ、そのきっかけは同校で同僚だったF先生だったそうです。F先生は皇子山中学校時代から授業で取り組み、同校の生徒だった「ゴリラ祭ーズ」

のメンバーも応募していました。先生は現在の在任校からも応募いただいています。

F先生にお話を聞くと「文字の数なので取り組みやすく、音で数えると短歌にもなるし俳句のように季語を入れなくていいので自由」とのこと。「授業の一貫で全員が参加でき、賞があることが励みになる」「暮らしの中に電車が溶け込んでいる地域であるからこそ日常が語れる」と話されます。文芸の授業の一環として捉えたF先生の熱意が連鎖を呼んでいるのもこの事業が長く続いているからこそとも言えます。

元はと言えば、まちづくりに公共交通がどう関われるかという事からスタートしました。電車の車体に作品をラッピングして走行しようと考え、動く電車を見て読めるようにしたいねと相談する中、駅の数の「21」文字なら瞬間で読み取れるのではないかと、という、いわば思いつきでした。路面電車部分があるこの路線ならではの着眼点とも言えます。そんな乗りで決めた文字数ですが、いつのまにか独特のリズムが生まれて新様式の文芸と言われるように育ちました。今回の展示会で何人かの方から「なんで21文字なの?と不思議に思ってたけどそうやったんや」と謎が解けたという反響がありました。第1回に思いがけず多くの応募が集まって、次回もやってみようとなり、毎年いろいろな試行錯誤しながらも「次もやれそう」という積み重ねで続けてきました。

まだまだ知らない人が多い21文字メッセージ。文字数だけでなく青春という時間軸と電車という場面の縛りはあれど自由な創作が出来る。これからどんな展開を見せてくれるでしょうか。

「電車と青春21文字プロジェクト」代表 福井美知子

協力者リスト

令和4年度

【協力団体・企業】

滋賀県（滋賀県知事賞）

大津市（大津市長賞）

株式会社叶匠壽庵（青春賞）

大津商工会議所女性会（さわやか賞）

トヨタモビリティ滋賀株式会社（ユーモア賞）

京阪電気鉄道株式会社（鉄道賞）

近江鉄道株式会社（鉄道賞）

信楽高原鐵道株式会社（鉄道賞）

西日本旅客鐵道株式会社（鉄道賞）

一般財団法人天智聖徳文教財団（近江勸学館賞）

京都信用金庫（団体賞）

共催…大津市

後援…滋賀県

主催…電車と青春21文字プロジェクト

尼田賢光、石坂線21駅の顔づくりグループ、NHK大津

放送局局長手島一宏、大津市社会福祉協議会、京都信用

金庫大津支店、桑川由夏、京阪電気鉄道、しがトコ、び

わこビクターズビュロー川戸良幸、毎日新聞大津支局、

名鉄観光サービス株式会社、矢野圭昭ほか（50音順）

第16回作品集「ポスターデザイン」／みしまちあき 監修…びわこデ

ザイン文化協会

ザイン文化協会
青春21文字のメッセージ展 旧大津公会堂チラシデザ

イン…桜ざしよー

滋賀をみんなの美術館にポスターデザイン…森友美子

装画…寺田みのる

表彰式オンライン技術支援…窄口真吾

第16回 青春21文字のメッセージ

2023年2月25日発行

編集・発行：電車と青春21文字プロジェクト

© 2023 電車と青春21文字プロジェクト
無断転載・複製を禁じます。

お問い合わせ先：

E-mail: densyatoseisyun21@gmail.com

Web: www.densyatoseisyun21.com



滋賀を
みんなの
美術館に

- 「令和4年度滋賀をみんなの美術館に」プロジェクト採択事業
- 公益財団法人ブルボン吉田記念財団2022年度文化芸術・スポーツ等振興活動助成事業

こぼれが光ると おもいが届く



青春21文字
メッセージ